

商工観光部の方針書

部名	商工観光部
部長名	佐々木公仁

1. 部の使命(ありたい姿)

地域経済が活性化しているとともに、おもてなしの心が地域に根差している	
担当政策	政策4: 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
担当施策	4-2: 活気ある商業の振興 4-3: 活力ある工業の振興 4-4: 観光・物産資源の発掘と発信 4-5: 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での地域経済停滞の克服</li> <li>・人口減少と地域経済縮小への対応</li> <li>・労働生産性向上と付加価値増大</li> <li>・多様な働く場創出と人材確保</li> <li>・横手の魅力発信と観光振興</li> <li>・市有温泉施設の運営</li> </ul>
--

3. 今年度の『スローガン』

つなごう！ ひと・ちいき・しごと (Go)
--------------------------

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者の事業継続と成長を支援する</li> <li>・労働力維持確保のための取り組みを推進する</li> <li>・産業と働く場の多様性を作り出す</li> <li>・観光素材を更に磨き上げ、横手の魅力を発信する</li> <li>・優れた横手産品の販路拡大を支援する</li> <li>・応援人口とのあらたな関係づくりを進める</li> <li>・市有温泉施設運営の方針を示す</li> </ul>
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市内事業者の成長支援により地域経済が活性化されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなBizサポートよこてを核に起業家育成に注力するとともに、駅東口の賑わい創出を目指します。</li> <li>・生産性向上への設備投資や産学共同研究等経費に支援することで市内企業の成長を促します。</li> <li>・若年者地元定着のため、事業所の魅力発信を支援し雇用のマッチングを促進します。</li> <li>・多様な分野での新たな企業進出、立地を目指し環境整備と誘致活動を進めます。</li> </ul>
(2)	実現したい成果	優れた観光素材と横手産品のブラッシュアップが成され、広く情報発信されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼げる観光地域づくりを進め、増田まんが美術館を中核とした全市回遊滞在型観光を推進します。</li> <li>・横手市観光推進機構や関係団体との連携を図り、市内の観光素材の更なる磨き上げを行います。</li> <li>・首都圏や仙台圏を主力ターゲットとして横手産品の販路拡大を進めます。</li> <li>・応援人口の交流機会の新たな創出のため「横手応援拠点事業」を進めます。</li> <li>・「サポートthe横手愛事業」に継続的に取り組みます。</li> </ul>
(3)	実現したい成果	市有温泉施設運営の今後について方向づけられている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組検証と市民アンケート結果を踏まえ、広く意見を求め、協議を進めます。</li> </ul>

## 6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)市内事業者の成長支援による地域経済活性化に取り組んだ
  - 1)"Bizサポートよこて"を移転し、リニューアルオープンすることで起業・創業支援を図った
    - ・個室スペース6室に5者入居 コワーキングスペース利用会員登録数 80人
    - ・起業ワンストップ相談窓口利用者数(延べ) 94人
  - 2)企業での生産性向上と人材育成に支援することで企業成長を図った
    - ・中小企業設備導入支援事業 10件
    - ・中小企業人材育成支援事業 5件
  - 3)秋田県と連携した企業誘致活動に努めた
    - ・横手第二工業団地へ新規立地 1社、市内移転による事業拡大 1社
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへ取り組んだ
  - 1)観光素材の磨き上げと、全市回遊滞在型観光の推進を図った
    - ・横手ならではの自然や自然体験を発信し、観光商品化とする事業を進めた
    - ・県南観光ルートの確立のため、観光推進機構、地域づくり企業人事業での人材と連携し、モニターツアーを実施した
  - 2)横手産品の販路拡大支援に取り組んだ
    - ・「外食産業マッチング支援事業」により、首都圏外食企業への横手産品(25商材)の売込みを推進した
  - 3)横手ファンの獲得・拡大と関係性の強化を図った
    - ・首都圏・仙台圏で横手市出身者が経営する飲食店を訪問し、横手応援拠店事業への協力を依頼した(計8店舗から賛同をいただき、「横手応援拠店」として登録、当該事業を本格的にスタートさせた)
- (3)市有温泉施設の、今後の方向付けに向け取り組んだ
  - 1)市有温泉6施設の方向性案を横手市議会産業建設常任委員会に提示し、協議を継続している

## 7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援、地域経済活性化への取り組み
  - 1)課題："Bizサポートよこて"のさらなる利用者確保と事業推進  
方針：ソフト事業の実施により、Bizサポートよこてへの人流を増やし、PRと利用者の確保につなげる
  - 2)課題：企業の競争力強化を目指した産学共同研究と人材育成への支援  
方針：事業誘導につながる支援策検討とともに、現行補助事業を広くPRし有効活用を推進する
  - 3)課題：更なる誘致活動の拡大と、新規立地企業への操業サポート  
方針：まず、立地企業での強力なサプライチェーン構築を支援する  
併せて、コロナ禍の状況を注視しつつも積極的に誘致活動を継続する
  - 4)課題：エネルギーや原材料費高騰が市内事業者に及ぼす影響把握と適切な対応  
方針：情報収集と状況把握に努め、必要な対応の検討と実施に努める
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへの取り組み
  - 1-1)課題：関西圏からの誘客事業に注目を集め、「横手市への誘客」「大阪万博催事参加」等の目的達成  
方針：天神橋筋商店街における事前PRと、「横手の雪まつり in大阪城」実施で関西圏からの誘客を図る
  - 1-2)課題：コロナ禍の状況を見定め、規制緩和に合わせた事業、イベントの安全実施  
方針：雪まつり、出前かまくら等の実施方法、PR方法について関係団体と早期に決定し、準備を進める
  - 2)課題：ターゲットを明確に持った、横手の魅力発信  
方針：首都圏や仙台圏での小売店舗においてフェアを開催し、対面による魅力発信に取り組む
  - 3)課題：横手ファンの獲得と、関係性の維持・強化  
方針：「横手応援拠店」の仕組みを強化するとともに、首都圏・仙台圏での展開拡大を図る
- (3)市有温泉施設の方向付けに向けた取り組み
  - 1)課題：アフターコロナも見据え、今後の市有温泉施設運営方針決定  
方針：市有温泉施設それぞれの在り方について、広い視点で検討を進め、協議、説明に努め方向付けする

## 8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)市内事業者の事業継続と成長支援、地域経済活性化への取り組み  
結果と成果：プレミアム付商品券事業(約12億円が市内に流通)により地域消費の喚起を図った  
企業の競争力強化につながる事業者支援と、起業・創業支援のための環境整備と活用促進を図った  
新規立地企業 2社(操業時雇用90人を予定)を誘致した  
課題：空き店舗解消と賑わい創出  
産学共同研究の促進と人材育成の取り組み強化  
工業団地の拡充
- (2)優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへの取り組み  
結果と成果：観光客を迎えての横手の雪まつりを3年ぶりに開催した  
大阪城公園、大阪国際空港など、関西圏での出前かまくら開催により横手の魅力を発信した  
セブンイレブン・ジャパンと連携し規格外野菜販売を企画実施し横手産品販路拡大を図った  
よこてfun通信の新規読者を705人とし、応援人口増加につなげた  
横手応援拠店事業をスタートし、首都圏・仙台圏で11店舗を応援人口の交流の拠点として登録した  
課題：観光客の満足度向上を目指した「質」を重視した誘客と商品開発  
横手産品の現状に適した販路拡大支援  
よこてfun通信での若年者の読者獲得による応援人口拡大
- (3)市有温泉施設の方向付けに向けた取り組み  
結果と成果：市有温泉施設の方向性(案)の調整  
課題：最終的な方向性の確定と具体取り組み着手